

製品名: HTRA2 (8W8) ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe12276**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:1000-1:2000,IHC 1:50-1:200,IP 1:20-1:50,IF-P 1:50-1:200
分子量	49kDa

抗原情報

遺伝子名	HTRA2
別名	HTRA2; HtrA-like serine protease; OMI; PARK13; Protease; PRSS25; Serine protease 25; HtrA serine peptidase 2; Serine proteinase OMI;
遺伝子 ID	27429.0
SwissProt ID	O43464
免疫原	ヒト HtrA2/Omi の合成ペプチド

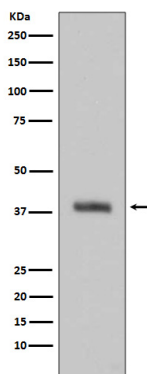
背景

高温要求性タンパク質 A2 (HtrA2)/Omi は、大腸菌 HtrA タンパク質 (DegP) と相同性を持つセリンプロテアーゼで、アポトーシスおよびミスフォールドタンパク質のストレス誘発性分解に関与していると考えられています。HtrA2 は当初、核または小胞体に存在することが確認されましたが、その後の研究で、ミトコンドリアに局在し、アポトーシス中に放出されることが示されています。非特異的基質ベータカゼインに対してタンパク質分解活性を示すセリンプロテアーゼです。BIRC タンパク質 (アポトーシス阻害タンパク質、IAP とも呼ばれる) に直接結合して阻害することによりカスパーゼ活性を増加させるか、BIRC 阻害非依存、カスパーゼ非依存、セリンプロテアーゼ活性依存のメカニズムによって、細胞死を促進または誘導します。アポトーシス中に THAP5 を切断してその分解を促進します。アイソフォーム 2 はタンパク質分解的に不活性であるようです。

研究分野

神経科学

画像データ



Jurkat 細胞溶解物中の HTRA2 発現のウェスタン プロット分析。